令和3年度 市長記者会見 発言要旨

令和４年１月６日（木）開催分 第１部

＜ 開催時間 ＞　　14:00～

＜ 会 場 ＞　　庁議室（ 市役所本館3階 ）

＜ 会見案件 ＞　　新春の抱負

＜ 出 席 者 ＞　　市長、副市長、総務部長、総合政策課長、都市整備課長、新幹線整備課長、
地域交通課長、新幹線プロモーション課長、ワクチン接種推進課長、地域福祉課長

＜ 発 表 内 容 ＞

【福井市長】

新年あけましておめでとうございます。本年も、よろしくお願いいたします。

さて、今年の干支は寅（とら）です。

「虎は千里行って千里帰る」と言われます。これは、虎の勢いが盛んで行動力に溢れていることを例えたことわざです。本年が、市民の皆様にとって、勢いに満ちた輝かしい一年となりますよう、心より祈念いたしております。

また、本市では、「第八次福井市総合計画」スタートの年となりますので、全力で市政の運営に邁進してまいりたいと思っております。

それでは、令和4年の年頭にあたりまして、新春の抱負を申し上げます。

先ずは、第八次福井市総合計画の推進についてです。

今年４月から「第八次福井市総合計画」がスタートします。

計画期間中の、令和6年春には、いよいよ北陸新幹線の県内開業を迎えます。

第八次総合計画では、これまで進めてきた開業準備の総仕上げを行うとともに、 開業後の新たな人の流れを見据えた観光誘客や二次交通の充実、福井の産品の販路拡大、また福井と多様な形でつながりを持つ関係人口の創出・拡大など、開業効果を最大限に引き出すための取組をしっかりと進めてまいります。

そのため、現在、総合計画の具体的な事業計画として「第八次福井市総合計画実施計画」を策定し、そこに掲げられた事業を着実に推進することで、これまで市民の皆様とともに築き上げてきた、豊かなまち、住みよいまちとしての全国的な評価をさらに高めていきたいと思います。

ご承知のとおり、本市は、東洋経済新報社が発表する「住みよさランキング」において、昨年は、県庁所在地と中核市の中で、全国第１位に選ばれております。

これは、全国有数の子育て、教育環境などをはじめとした、本市の総合的な暮らしやすさを評価いただいているものと考えております。

このような本市の魅力に、さらに磨きをかけることで、総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる

ふくい」の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

次に、北陸新幹線福井開業に向けた取組についてです。

現在、北陸新幹線金沢・敦賀間の令和6年春の確実な開業に向け、様々な建設工事等が進められております。先日、北陸新幹線福井駅舎の工事状況について、鉄道・運輸機構の説明を伺いながら視察をさせてもらいました。皆さんもご覧になられているように、新幹線駅の外観がその姿を現し、駅の内部もコンコースから2階のホームまで上がってみますと、内装やエレベータ等の工事が始まっており、開業に向けた準備が順調に進んでいることを実感したところです。

また、新幹線福井駅に一体的に建設する福井市観光交流センターの工事も昨年９月から始まり、令和５年１月末には完成を予定しています。

このセンターの屋上広場は、新幹線の発着が眺められるデッキになっているのですが、ここに、新幹線の車窓から見える人気の恐竜モニュメントを設置したいと思っています。「恐竜王国ふくい」を感じとっていただけるように、西口広場で人気が定着した恐竜と合わせて、来訪者のみならず、市民の皆様にも楽しんでいただければと思います。

さらに、再開発事業については、現在、ホテルや商業施設、オフィス、住宅などの機能を有する福井駅前電車通り北地区Ａ街区の工事が行われており、B街区や、駅前南通り地区においても再開発事業が進められる予定です。

北陸新幹線福井開業を前に福井駅周辺の景色が少しずつ変わっていく様子から、市民の皆様も新幹線開業が間近に迫ってきたことを実感されるのではないかと思っております。

これら街の整備が進む中で、福井に来られた方々をお迎えするための、街の魅力や機能を向上させていくことも重要です。今後、本市と県、商工会議所からなる「県都にぎわい創生協議会」の中で、まちなかにスポ―ツ競技や芸術、文化活動、展示会など、多目的に利用できるアリーナ機能を設けることや、老朽化したビルや店舗のリノベーションの支援などについて議論を深めてまいります。

また、北陸新幹線で福井を訪れた方が福井を満喫していただくためには、交通の利便性も重要です。

現在の北陸本線は、並行在来線としてJRから経営分離され、本市も出資する第3セクターによって運行されますが、本市もこの第3セクターと連携し、開業後の利用者の利便性向上に取り組んでまいります。

また、えちぜん鉄道、福井鉄道、越美北線、路線バスなど二次交通を充実させ、北陸新幹線福井駅を起点とした「全域交通ネットワーク」の実現を目指すとともに、ICT 化や鉄道駅沿線の魅力発信などにも取り組んでまいります。

ここまで主に、ハード整備について申し上げてまいりましたが、本市を全国に発信していくためのソフト事業も重要です。そこで、北陸新幹線福井開業に向けた機運醸成を図るため、本年3月に予定している開業2年前イベントなど、イメージロゴ「福いいネ！」や「福いいネ！くん」を活用したプロモーションを、これまで以上に積極的に展開してまいります。

さらに、一乗谷朝倉氏遺跡など観光資源の磨き上げや、お取り寄せサイト「ふくいさん」で本市の恵みを全国に直送するなど、市内外に本市の魅力を積極的に発信してまいります。

なお、北陸新幹線福井開業に合わせ、県、坂井市と連携して「ふくい桜マラソン」の開催を予定しており、同じく本年３月に２年前イベントを中央公園と福井城址周辺を会場に開催する予定です。

全国で最後のフルマラソンの開催県となることから、マラソン愛好家からは「福井を走らないと全国コンプリートとはならない」との声も聞こえておりますので、ぜひ北陸新幹線を使って、全国からお越しいただけることを期待しています。

＜ 質 疑 応 答 ＞

【広報課長】

それではただ今説明がありました案件につきまして質疑応答を行います。ご質問される際にはマイクをお渡ししますので、社名、名前の後にご質問をお願いいたします。

【日経新聞】

北陸新幹線の整備についてハードとソフトの両面からとあげていましたが、まずソフト面について、今後首都圏への福井市の魅力発信について具体的に考えていることありますか。

【市長】

先程も申し上げたとおり、色々な指標などを全国的に比較することもありますので、福井の魅力を向上させようと思っても、なかなかそう簡単にあがっていくものではないので、普段からの努力で、着実に施策を実行していくことで、福井の魅力向上に結びつくと思っています。そういった意味では、第八次福井市総合計画などで示す事業内容をしっかりと着実に前進させていくということを心掛けたいと思う。

【日経新聞】

市の魅力を底上げすることはもちろんだが、発信していくプロモーションという意味ではいかがですか。

【市長】

先程も申し上げたとおり、色んな局面で発信しないといけない訳だが、産直ECサイト「ふくいさん」のような取組をしっかりと行うことで、今までにはないエリアに向けて発信することにつながると思っています。

【日経新聞】

もう一つ、ハード面について、再開発をあげていたが、若干の遅れというか、新幹線開業までに間に合わない部分が出てくるという点と、再開発地域以外の部分で撤退している店舗も出てきているようだが、その辺りを総合的にみてどのように感じているのか教えてください。

【市長】

再開発の問題について、判断を急ぐことは難しいが、悠長にも構えていられない部分もあるため、着実に進めていくことが必要であると思っています。コロナ禍で、経営と再開発事業について、うまくマッチしない店舗については、足踏みをされるということは幾分あるかと思います。しかし、コロナ過を乗り越えることは並大抵のことではないので、しっかりと我々も支援できることは支援し、そして事業を進めていきたいです。

【日経新聞】

行政としては、総合的なマネジメントに役割があると思うのですが、県と連携する中で、福井市が果たす役割、特に今年一年果たす役割についてどのように考えていますか。

【福井市長】

従来から福井市の観光は拠点がなくて弱かったが、一乗谷朝倉氏遺跡という一つの拠点ができており、現在、県の一乗谷朝倉氏遺跡博物館も出来上がるという時期に来ているので、県と連携しながら発信をしていくことが重要だと考えています。

【日経新聞】

新型コロナウイルスの関係で、全国的に感染者が増えてきているが、福井市は感染が抑えられていると思いますが、福井市内の経済状況に関してどのように捉えていますか。

【福井市長】

経済状況を推し進めること、新型コロナウイルスを撲滅するという2点が重要であると考えています。この 2 点は相互に関連しているため、ともに連携しながら推し進める必要があると考えています。

【日経新聞】

その中で、福井市として支援していく部分は具体的にどう考えていますか

【福井市長】

経済全体を見る中で、弱いところを国、県、市町村の役割をにらみながら進めていきたいです。

【福井テレビ】

冒頭あいさつでも言っていたが、北陸新幹線福井開業まであと2年、コロナ禍 3 年目ということで、市長の2022年の目標をお聞かせいただきたいです。

【福井市長】

しっかりと計画を立てて、その計画を着実にすすめることを念頭におきながら行政運営をしています。第8次総合計画が動き出す4月に、スタートダッシュをかけたいと思っています。

【福井テレビ】

具体的な考えがあれば伺いたいです。

【福井市長】

今の段階で計画の優先順位を選ぶことは難しく、今言えるのは第8次総合計画に書かれている内容を進めていきたいと思っています。

【福井新聞】

先程の質問の中での、スタートダッシュをかけたいという発言の、具体的な説明をお願いします。

【市長】

スタートダッシュをかけるために、財源をしっかりと確保しながら、事業運営の計画を密に作り、進めるということが必要だろうと思っています。

【福井新聞】

県都にぎわい創生協議会の中で議論されている、アリーナ構想の話は、北陸新幹線開業をにらんだ構想だと思いますが、今年１年はどういう課題をクリアして、どういうことを明確にしていく１年になるのか、お伺いします。

【市長】

第八次総合計画の中、あるいはその下部計画の中に具体的に書かれているものを行っていきます。今、福井市観光交流センターの施行をしている期間ですし、そこに恐竜モニュメントを置くこと等で、どのようにして恐竜王国というのをお見せできるかということを具体的に議論していかなければなりません。また、アリーナ又はリノベーション事業等についても中心部のにぎわいを作り出していくためには必要だという議論が行われているので、それを具体的にしていくためには密な計画を作り上げていかなければならないと思っています。

【県民福井】

アリーナやリノベーション事業に関して、具体的な計画を作り上げていかなければならないという発言は、新年度中にアリーナ建設の場所を決定するといったような、スケジュール感を持っているということでしょうか。

【市長】

これは福井市だけで考えられることではないため、いろいろな立場の方とお話をしていかなければ、実現することは難しいと思います。そのような話をしていく中で具体的な計画につながっていけばいいと思います。

【県民福井】
新年度中に話を固めようといった発言ではないということでしょうか

【市長】
課題そのものも、福井市が考えている課題とは違う課題もあるかもしれないため、いろいろな方と議論をしていく必要があります。ですので、新年度中に話をまとまめてしまいたいという発言ではございません。

【県民福井】
福井市の課題としては、財源の課題があると思うのですが、そのことについてはどう取り組んでいく予定でしょうか。

【福井市長】
財源については、どの建物を建設する際、どの事業を行う際でも考えなければならない問題です。現在の一番の課題は財源ではなく、既存の計画の枠組みと新たな計画の枠組みとで衝突する部分もあるため、その部分をどう解決していくかだと思っております。

【NHK】
新型コロナウイルスの件について、今後感染者が増えてきた場合、ワクチン接種のスケジュールを前倒しで行う予定でしょうか。

【福井市長】
国が従来の考え方から判断が変わっているため、福井市も国の指示の元、しっかりと対応を取っていかなければならないと思っております。これまでは、3回目接種の対象者は2回目の接種から8か月経過した方が原則でしたが、7か月、6か月という風に前倒しが可能だというお話もいただいております。そのような形で対応がとれるか検討し、対応が可能であれば、3回目の接種対象となる日の2週間ほど前までには、接種券を郵送する予定です。接種券がお手元に届きましたら予約をしていただく、という形で進めたいと思っております。そのことについては、今後、いろいろな広報媒体を介して周知を図る予定です。

【NHK】
ありがとうございます。

【広報課長】
他に質問がないようですので、これにて市長記者会見を終了いたします。誠にありがとうございました。